

# ドクターに聞きました

## 高齢者のための聴力ケア

### 難聴、補聴器、そして耳鳴り治療

#### 補聴器外来を行う耳鼻咽喉科医の視点から

日々のコミュニケーションや生活の質に大きな影響を与える「耳の健康」について、私の経験をお伝えします。一枝クリニックでは、私を含めた補聴器外来チームで、補聴器を用いた難聴治療と耳鳴り治療を行っています。

#### 難聴

##### 「気が付きにくい変化の理解」

難聴は、高齢になると自然に発生します。この変化は徐々に進行し、会話の理解が難しくなる、テレビの音量を上げるなどのサインが現れます。難聴は社会的孤立やコミュニケーション障害につながり、認知症や筋力低下の原因になることがあります。そのため、早期の対応が重要です。

#### 補聴器

##### 「それぞれの方に合わせて」

##### 「難聴」を解決

補聴器は、個々の聴力に合わせて調

整することができ医療機器です。私のクリニックでは、患者様の生活スタイル、聴力の程度、そして耳の形状に合わせて、補聴器を調整しています。また、聴力や耳の形に合わせて適切な耳栓を選択したり、オーダーメイドの耳栓を作成したりしています。最新の補聴器は、音質を自然に保ちながら、必要な音を強調して聞こえるように設計されています。これにより、日常生活でのコミュニケーションが格段に向上します。

補聴器とは、「現在の耳の力を最大限にいかし、聴こえをよくし、本人、ご家族が幸せになる」道具と考えています。

#### 耳鳴り

##### 「原因と治療」

耳鳴りは、聞こえるはずのない音が聞こえるという状態です。ストレスや特定の健康状態によって引き起こされることもあります。多くの場合は、難聴によって耳鳴りが起こります。難聴があると、

音刺激が脳に入らないため、脳が異常に興奮し、耳鳴りが生じるといわれています。そのため、難聴が原因の「耳鳴り」の場合、補聴器が必要な音を入れることで脳の異常な興奮が抑えられ、耳鳴りによる不快感を軽減することがあります。難聴があり、耳鳴りがある方は、補聴器による治療もよい方法です。

#### 聴覚リハビリ

##### 「補聴器の効果を最大化」

補聴器の恩恵を最大限に生かすためには、聴覚リハビリが欠かせません。眼鏡をかけるとすぐ見えるようになるのと異なり、補聴器の調整だけでは、補聴器の効果はできません。聴覚リハビリとは「難聴に慣れてしまった脳」を「よく聞こえる脳」に変化させるリハビリです。個人の状況に合わせてリハビリを行います。患者様が補聴器の使用に慣れ、音の識別、会話の理解、そして周囲の環境音に慣れていく必要があります。

#### 最後に

##### 「聴力ケアの重要性」

「聞こえ」は日々の生活において非常に重要です。難聴や耳鳴りがある場合、適切な診断と治療を受けることが、快適な日々を送るための鍵です。まずは、医療機関を受診し、難聴、耳鳴りの原因を特定することが重要です。補聴器の使用と聴覚リハビリは、難聴や耳鳴り改善のための強力な道具となります。我々耳鼻咽喉科医は、よく聞こえることで、元気で充実した幸せな生活を送ることをサポートします。



一枝クリニック院長  
江島 正義先生  
(耳鼻咽喉科担当)

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医、日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医。補聴器適合判定医師研修会を修了し、難聴でお困りの方が「なくてはならない補聴器を手に入れて幸せになる」ために、補聴器診療をしています。



一枝クリニック耳鼻咽喉科・小児科  
北九州市戸畑区一枝 2-3-26  
TEL 093-616-2812